

日清医療食品株式会社 仙台支店

設立 昭和47年9月

代表者 支店長 赤井 義弘

事業内容 給食業務委託(コントラクトフードサービス)

障害のある方の雇用状況

身体障害者12名／知的障害者9名／精神障害者6名

●雇用のポイント

誰もが働きやすい職場づくりと 豊富な選択肢

日清医療食品株式会社は医療・福祉施設・保育施設に特化した給食業務受託(コントラクトフードサービス)を展開しています。仙台支店では宮城県・山形県・福島県内の約360事業所と提携しており、現在87名の障害のある方々と一緒に医療施設、福祉施設等で食事提供をしています。その内、仙台市内で就労している障害のある方は27名(身体障害者12名、知的障害者9名、精神障害者6名)となっています。

当社は障害の有無に限らず、シニア世代や外国人技能実習生も積極的に雇用しており、誰もが働きやすくなるよう、作業の説明動画を作成する等の取り組みを実施しているほか、仙台支店の各事業所では食器等をしまう棚が分かるよう写真を掲示する、間違わないよう目印を付ける等現場の状況に合わせた対策を実施しています。

また、厨房内の作業は多岐にわたるため、一人一人の障害特性に合わせた業務に従事することができます。加えて、就労先の事業所が多いことから、自宅から通勤しやすい場所で就労することができる選択肢の多さも特徴です。

実習によるミスマッチ防止と 就職後のサポート

日清医療食品株式会社仙台支店では、支援学校で当社の仕事に興味がある生徒向けに職場実習を実施しています。高等部1年生後期から複数回継続的に実習を経験することで、採用後の定着につなげています。

実習は簡単な作業から始まり、厨房の作業に慣れてきたら生徒の自宅から近い事業所で経験を積み、最終的には入社後、長く活躍できる可能性が高い事業所で実習を行い、適性を判断します。職業実習で得られた経験や課題をもとに、生徒一人一人が働くイメージを付け、それぞれの目標にもらうほか、受け入れ側の事業所では障害特性だけでなく、個人の意欲や作業能力の理解を深めることで入社後のミスマッチを減らし定着につなげています。

また、採用担当者が障害者職業生活相談員の資格を取得する等、障害のある方が相談しやすい環境の整備を進めているほか、2年前からは雇用された新卒の障害のある社員に、様々なテーマを設けて研修を開催し、職場定着や、研修を通じた支援学校卒業生の交流促進に取り組んでいます。



●障害者雇用担当者の声

当社は、雇用機会創出を目的として、支援学校からの職場実習を積極的に受け入れています。実習は企業と生徒が相互理解を深め、ミスマッチを防ぐ貴重な機会です。生徒は実習で作業を経験し、将来の仕事や働くイメージを具体的に持て、企業側は、生徒の適応力や作業能力、個性、強みを具体的に把握し、多角的に評価することで、適性を判断できます。

障害者実習と聞いて、「特別な配慮が必要そう」「大変そう」とマイナスイメージを持つ方もいるかもしれませんが、しかし実際に共に働く中で実習生の一生懸命な姿勢を見ることで、社員の理解が深まり、多様性を受け入れる職場環境づくりが促進されています。障害のある社員も、私達と同様に、医療福祉の食事提供の仕事にやりがいを感じ、会社に貢献したいという気持ちを持って働いています。集中力

が高く正確な作業が得意な人、周囲を明るくするムードメーカー的存在の人等、それぞれ個性的な能力や才能を持っています。大切なのは障害の有無ではなく、「一人ひとりの個性」として捉え、互いに尊重し成長を助け合うことです。少しの「配慮」と「工夫」で、働きやすさは大きく変わります。障害のある方にとって、働く上でどんな困難があるのか、想像を動かしてみることで、職場環境や仕事内容を工夫するポイントが見えてきます。

当社は障害者雇用を「特別な取り組み」とは考えていません。南東北3県に広がる360力以上の事業所それぞれで、実習の受け入れや雇用を積極的に行い、社員一人ひとりの理解と行動によって、誰もが働きやすい職場環境の実現を目指していきたいと思えます。

●従業員の声



入社後、実習でお世話になった馴染みのある事業所に配属となりました。実習中に作業内容や食事提供の大切さがある程度理解していたこと、一緒に働く社員の皆さんが顔見知りであったことで、比較的順調に作業を覚えることができました。どんな作業も先輩社員が時間をかけて指導してくれたおかげで、今ではスムーズに動けるようになりました。頼れる先輩社員が周りにいることでここまで大きなミスもなく、自信にもつながっています。

私が仕事で心がけていることは「作業の時間を意識する」「作業のスピードアップ」「いつでも丁寧に正確に」です。「おいしい」と言ってくれる利用者様を想像しながら作ることが楽しく、食べ終わった食器がきれいに完食されていると、本当に嬉しくなり、頑張った甲斐があったと実感できる瞬間です。

これからの目標は、できる作業を増やし、自分の役割の幅を広げていくことです。そして、利用者様のために、社員全員で協力しおいしい食事を届けていきたいです。

私は支援学校専攻科在学中の実習体験がきっかけで、日清医療食品に入社しました。調理業務に興味があり、学校の先生に紹介していただき、先輩社員が多く在籍する同社で実習することになりました。実習では、調理補助の仕事をお願いいただきました。盛り付けや食器の洗浄、使用した調理器具の洗浄・清掃等、様々な仕事があることを知りました。その後複数の事業所で実習を体験、医療福祉の食事の大切さを学び、さらに興味を持ったことが入社を決め手となりました。

